

UNI_13

制作団体名	株式会社 CHURA
公演団体名	一般社団法人 沖縄歌舞劇団 美

分野、種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇, その他()
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル, ノンバーバルその他()
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊, その他()
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸, その他()
【美術】	洋画, 日本画, 版画, 彫刻, 書, 写真, その他()
【メディア芸術】	映像, メディアアート等, その他()

取り組み(該当する取り組みに○を付してください。)

該当	取り組み
	① 障がいを持ったアーティストが活躍する取り組み
○	②字幕や音声ガイド等を設置するだけでなく、障がいを持った子供たちも主体的に芸術鑑賞・体験ができるよう工夫された取り組み

応募する取り組みが①である場合、アーティストが抱える障がいの種類

--

応募する区分(該当する区分に○を付してください。)

該当	区分
○	《D 区分》公演をメインプログラムとする企画
	《E 区分》ワークショップを中心とする企画 ※ ワークショップの一環として実演を披露するものを含みます。

実施可能期間等

(別添)カレンダーを御参照ください。

実施可能地域(実施可能な地域又は都道府県名の前に○を付してください。)

地域	都道府県
限定なし	○
北海道	北海道
東北	青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島
南関東	埼玉, 千葉, 東京, 神奈川
北関東・甲信	茨城, 栃木, 群馬, 山梨, 長野
北陸	新潟, 富山, 石川, 福井
東海	岐阜, 静岡, 愛知, 三重
近畿	滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山
中国	鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口
四国	徳島, 香川, 愛媛, 高知
九州	福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄

団体の概要

【制作団体について】

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ ちゅら 株式会社 CHURA		
代表者職・氏名	代表取締役 小杉奈津子		
制作団体所在地	〒902-0076 沖縄県那覇市与儀368-13-1F		
制作団体 設立年月	2009 年 4 月		
制作団体 組織	役 職 員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 小杉 奈津子 監査役 山田 泰生	制作部 3 名、文芸部 2 名、舞台部 20 名 合計 25 名 加入条件:定期的に琉球舞踊界の中で公募し、オーディションにより選抜する。	
事務体制の担当	専任 ・ 他(の業務と兼任)	Web サイト等 URL	
本事業担当者	小杉 奈津子	本件連絡先	電話番号 098-987-1327 メールアドレス mail@chura.good.sc
経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	小杉 奈津子

【公演団体について】

ふりがな 公演団体名	いっばんしゃだんほうじん おきなわかぶげきだん ちゅら 一般社団法人 沖縄歌舞劇団 美
代表者職・氏名	代表取締役 小嶺和佳子
Web サイト等 URL	

特別支援学校等 における活動実 績や障がいを持 ったアーティスト の活動を拡げる 公演等の活動実 績	2001 年 長野県諏訪養護学校 2004 年 長野県安曇養護学校 2009 年 愛知県名古屋市立南養護学校 2016 年 大阪府大阪市立光陽特別支援学校 2017 年 広島県立呉特別支援学校 2022 年 沖縄県立宮古特別支援学校 2022 年 沖縄県立沖縄ろう学校 2022 年 沖縄県立はなさき支援学校
---	---

令和4年度「文化芸術による子供育成推進事業 ユニバーサル公演事業」 出演希望調書 No.2

《D 区分》公演をメインプログラムとする企画用

【制作団体名 株式会社 CHURA】

企画名	舞踊劇「太陽(ていーだ)の花」	
主な対象学年	小学生・中学生・高校生	
児童・生徒の鑑賞・体験可能人数の目安	ワークショップ	基本:26名(共演生徒) 全3回のワークショップ中、1回は体育館収容可能人数対応可能
	本公演	全校生徒
企画の動画等の資料	公演内容ダイジェスト版 URL https://youtu.be/LT_HSj7T0Sg 特別支援学校 ver.URL https://youtu.be/IQ-hwx4f2uQ ろう学校 ver.URL https://youtu.be/vUfyPirGUyl ※ダイジェスト版以外は部外者 URL 公開不可	PW なし

公演について

主な演目 原作／作曲 脚本 演出／振付等	【プログラム】 【オープニング】 ① ^{よ たけ} 四つ竹 (古典女踊り) 祝儀舞踊の代表作。南国沖縄を象徴する赤い花、青い空と波打つ白い高波をモチーフにした「花笠(はながさ)」をかぶり、伝統の染色技法で作られた「紅型(びんがた)」を身にまといます。手には四枚の竹を持ち、カステネットのように打ち鳴らしながら、歓迎の喜びを表現する華やかで美しい舞踊です。 
	【季節は冬ー男女が出合い恋に落ちるー】 ② ^{か な あまかー} 加那ヨ一 天川 (雑踊り) 愛し合う男女の愛の印である花染めの手ぬぐい(ティーサージ)。軽快なリズムにのって恋のしぐさを明るく表現した踊り。随所に技巧に富む、自由奔放な振りがみられます。舞踊でお互いの思いが表現されており、二人の会話がまるで聞こえてくるようです。  【季節は、春 ～ 結婚式】 ③ ^{ふう} かぎやで風 (古典祝儀舞踊) 沖縄の結婚式と祝宴の座開きとして踊られる舞です。色鮮やかな衣装を身にまとい、獅子頭や花を持って二人の門出を祝い舞います。  

ぶ まい
④ 武の舞（創作空手男踊り）

沖縄発祥の空手を舞踊に取り入れた武の舞は、空手の型や、武器を使う古武道の型を音楽に合わせて演じる沖縄独特の舞踊です。
三線と太鼓音に合わせて踊る、武の技を使う勇壮で力強い舞は圧巻です。



【夏 ～ お盆の季節がやってきて、あの世からご先祖様が降りてくる！】

ししまい
⑤ 獅子舞（伝統芸能）

沖縄各地に伝わる獅子舞は、中国から伝わったものといわれ、百獣の王・獅子を舞い表すことによって、悪霊を祓い、五穀豊穡と繁栄を祈願します。頭と胴体を二人の人間が息を合わせて操る獅子は、まるで本物の生き物のようです。



子供達も躍動感ある獅子舞に興味津々で、会場全体が盛り上がる場面です。

⑥ アンガマー（八重山諸島伝統芸能）

あの世の先祖ウシュマイ（お爺）とウミー（お婆）が現世に現れて、家々を訪問。珍問答や踊りなどで祖先の霊を供養する石垣島独特の伝統行事です。
お面をつけて踊る仕草は愛らしく、仲睦まじいお爺とお婆の陽気でコミカルな踊りは笑いを誘います。



⑥ エイサー（伝統芸能）～ 児童・生徒のみなさんとの共演 ～

エイサーは、旧暦のお盆の最終日に祖先をあの世へ送り出す念仏踊りです。



ワークショップで習ったエイサーを、いよいよ発表！全校生徒も一生懸命応援します。

うた さんしん
⑦ 歌・三線（沖縄の唄）



どこか懐かしくて、楽しくなる沖縄の音楽を、三線と歌でお届けします。子供たちと、一緒にハヤシ言葉(合いの手)を入れながら楽しめる歌のコーナーです。

【季節は、秋 ～ 収穫の時期。きつい仕事も歌や踊りで元気に表現】

⑧ マミドーマ(八重山芸能:雑踊り)



大変な畑仕事も、歌いながら楽しく行う、沖縄人々の陽気な性格が表れた作品です。笑顔で働く姿に、思わず、つられて笑みがこぼれる一幕です。

【フィナーレ】

⑨ 打ち晴りてい遊ば

苦難を乗り越え、喜びを分かち合い共に生きていく、明るく陽気でたくましい沖縄の人々を「打ち晴りてい遊ば」心晴れやかに楽しんで踊り表現します。

皆で今日の良き日の喜びを分かち合います。

メンバーと子供達、そして先生も！みんな一緒になって踊り楽しむフィナーレです！



著作権



制作団体が
所有

制作団体以外が所有する
事項が含まれる

(制作団体以外が
所有する事項が含
まれる場合)
許諾の有無

演目概要	【今も沖縄に息づく伝統芸能】 沖縄が琉球王国と呼ばれていた時代、その文化・芸術は、独自の感性で育まれ、様々な形で表現され、現在も息づく芸能として、多くの人に継承されています。本公演では、琉球王朝時代から現在まで継承・発展された沖縄伝統芸能の代表格といえる芸能をご覧ください。 見所ポイント① 沖縄の芸能がオムニバスで楽しめる！ (古典舞踊・創作舞踊・農耕舞踊・エイサー・獅子舞・エイサー) 見所ポイント② 分かりやすい解説つき！ (琉球舞踊の歴史や衣装や見所、物語の内容について説明をします。) 見所ポイント③ 生演奏を楽しめる！ (三線・笛・太鼓の伴奏を生で見、聴くことができます。) 見所ポイント④ 子ども達との楽しい共演！ (衣装や小道具などを実際に身につけ、沖縄のお盆のシーンを伝統芸能のエイサーを演武し再現いたします。)					
公演従事予定者の編成 (1公演あたり)	出演者:11名 / 音響:1名 / 照明:2名 / 舞台スタッフ:2名 / (合計:17名) ユニバーサル対応(追加人員) ろう学校 / 手話:2名 / 字幕:1名 / 音振動機材操作:1名 / (追加4名) 盲学校 / 音声ガイド1名 / 音声ガイド音響:1名 / (追加2名) (学校と相談の上共演時に演舞サポート人員追加の可能性あり)					
公演に当たり 必要な会場条件	・舞台の設置場所 (教室 ・ 体育館) ・舞台に必要な広さ:間口7m 奥行5m 高さ5m(会場に合わせて多少調整可能) ・電源容量(主幹ブレーカー容量) 60A ・暗転の要否(要 ・ 不要) ※会場によっては暗転なしで開催可能 ・その他					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の 目安	前日仕込み(有 ・ 無) 会場設営の所要時間(4時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～13時	13時30分～14時30分	無	15時～17時	17時
	※コロナ対策のため、45分の時短バージョンも開催可能。 ※実施学校と相談の上生徒に合わせたプログラムに変更可能 ※午前公演で入時間が早朝になる場合は、学校側と相談の上、前日の授業終了後の搬入や仕込み可能					
派遣について	移動方法の制約等	なし				
	運搬規模	トラック:2tロング				

ワークショップについて

ワークショップ	(内容) 「エイサー(太鼓演舞)を踊ろう！」 沖縄民謡の掛け声“イヤササ・ハイヤ”に合わせて、演舞を行い、全員で唄の掛け合いをします。 - 太鼓3種類を用意します。(パーランクー ・ 締め太鼓 ・ 大太鼓) 大太鼓や締め太鼓は大きくて体力と握力が必要となるため、子供たちに合わせて太鼓を変更できるようにします。  パーランクー 締め太鼓 大太鼓 チョンドラー 上記、3種類の太鼓と道化役のチョンドラーの振付などを指導致します。 - 伝統芸能「エイサー」の所作やリズムを学び、定番曲に合わせて踊ります。 ※子供たちにもわかりやすく、覚えやすい、繰り返しのある振付です。 はじめは、曲にのってすぐに踊ることが困難でも、繰り返すことにより踊れるようになる楽しさが体験できます。 ※障がいの内容によってワークショップの指導内容の変更あり 【ワークショップ1回目】 できる限り全校生徒に参加していただき、本番当日の事前授業にしていきたいと思います。 エイサーの説明と見本演舞と全員でエイサーを体験し、リズムと動きを楽しんでもらう。 【ワークショップ2回目】 共演生徒の配役と担当する太鼓(小道具)の説明と基本の叩き方などを練習 曲に合わせて振り付けを練習する。 【ワークショップ3回目】 2回目のワークショップで練習した踊りを復習し、本番と同じ配列体系で演舞する練習。 リハーサルとして、入場退場まで一連の練習をする。 ※ワークショップは学校と相談の上2回にすることも可能。その場合は共演生徒のみの参加とし、集中的に練習をする。 ※ワークショップが1回しか行えない場合は、できる範囲を学校側と相談し曲を減らしたり考慮する。 ※公演までの日程にもよりますが、学校側の用意した曲や振り付けを美のメンバーが覚えて共演することも可能(前年度コロナによりワークショップが行えなかった学校で対応経験あり)
----------------	--

	(体制) 主指導者:1 名 / 補助者:5 名 ユニバーサル対応(追加人員は参加人数により変動あり)※学校と要相談 ろう学校・・・手話:1～2 名 盲学校・・・演舞補助 2～3 名
	(目的とする効果) エイサーは、お盆の最終日(旧暦7月15日)に行われる、「祖先をあの世へ送り出す」念仏踊りです。琉球舞踊と同じく古い歴史のある踊りです。 近年では、運動会の演舞にも取り入れられるほど有名になりましたが、祖先崇拝の強い沖縄では、お盆の大切な行事として大切にされています。踊りながら集落を練り歩く(道じゅねー)は、各家の無病息災や家内安全、繁栄を祈り、祖先の霊を供養する為に行われます。 この演舞を学ぶことによって、子供たちが祖先や両親への感謝の心を深めると同時に命を授かったことの大切さに気づいてほしい。また、生活の中に伝統芸能を取り入れ、喜怒哀楽を踊りの中に込めて、豊かな人間性や生きる力を育むための学びとなればと思います。 観たり聞いたりするだけではなく、参加することにとっても大きな意義があると考えます。太鼓の振動は、人種や言葉を超える人間の表現に使用されてきており、身体全体で感じる感動があります。エイサー(太鼓舞踊)を自分たちにもできる、文化芸術を発信できる側にも立てる、そして表現できることの楽しさを学んでいただきたいと思います。

企画全体について

企画のねらい	障害の有無に関わらず、自分のできることを十分に発揮し、芸術は鑑賞するだけではなく、自分たちも表現する側になれることを一緒に共同作業することで実感して頂き、その可能性を感じてもらいたいと思います。 健常者と同じような舞台鑑賞が難しいと、初めから舞台鑑賞を諦めたりしている方が多いと聞いております。実演者の少しの気遣いと配慮のみで、文化芸術に触れる楽しさと自ら参加する楽しさを感じていただけたと思います。 芸術鑑賞は障害の種類によってサポート体制が大きく変わると思います。提供する側の届け方の工夫が、実演者の表現能力の進歩にもつながると考えています。 制作を進行上、各部門の専門家と話し合い、工夫をこらし、芸術には壁がないことを実感してもらいたいと思っております。 障がいを持っている子供たちの想像以上の感性や感覚の素晴らしさや、純粋さは我々の想像を超えていることでしょう。きっと提供する側だけでなく、影響を受ける側にもなることでしょう。この公演を通して、障がいの有無に関わらず、共有できる素晴らしさや文字通り、ユニバーサルな一体感を感じることができると思います。
特別支援学校等での実施における工夫等	①第一に一方的ではないことを重視したいと思います。 公演を行うにあたって、各学校の先生の意見を取り入れることが重要だと思います。 障がいの種類や障害の程度によって、サポート体制は大きく変わると思います。まずは各学校の状況や子供たちの障害の種類や程度を理解し、専門の先生や、プロの手話通訳や音声ガイドの方などの意見をお聞きし、舞踊家、演奏家が工夫を凝らし、学校ごとにオーダーメイドの公演を作れる環境づくりが必要と考えます。 通常のワークショップ時の下見や打ち合わせ以上に、数回の打ち合わせが必要です。 ②各学校別の障害の種類や程度によって、ワークショップの内容を変更し、本公演でのサポート(手話通訳や音声ガイド)を使って楽しく感じてもらう。

	③舞台が始まる前の工夫として、舞台の広さや配置の説明、舞台の美術や衣装の説明などを行い、空間を認識してもらい、使用する楽器の説明や音色を聞いてもらった後に舞台を始めることによって、舞台上の空間を認識してもらうことができると考えます。 ④出演者にも手話を覚えてもらい、聴覚障害を持った児童とコミュニケーションが取れるように、手話の指導も受けたいと考えております。 ⑤身体障害に関しましては、車椅子でも踊れる振り付け、片手でも叩ける太鼓など、小道具にも工夫を凝らしたいと考えております。 どのパターンも、各学校の先生のサポートが必要、障害の段階に合わせた指導方法を事前に打ち合わせが必要です。その内容によりワークショップの人数と太鼓の種類を各学校に合わせて変更したり、本公演の内容の変更や公演時間も負担がないように短いバージョンも用意する。 本公演では、コロナ対策は十分に配慮していくのはもちろんですが、触れ合いなしで、伝えることが健常者よりも難しい点など課題はありますが、各学校の先生や、医療器具(呼吸器系)などを使用している生徒がいる場合は、オンライン公演や廊下などを練り歩く舞台の依頼もあるため、公演が決まった場合は、その学校と打ち合わせを十分に行い、オーダーメイドの舞台が臨機応変に対応することが大切だと思います。 コロナ禍では実施が難しいかもしれませんが、共同開催ができるのであれば、健常者、視覚障がい、聴覚障がい、身体障がい、発達障がいなど色々な方が同時に同じ舞台を見て感動できるように、手話、音声ガイド、字幕など全てを網羅した公演が可能なように構成する。
取り組み②で応募する場合、特に重点的に課題解決に取り組んできた課題(障がい)	【視覚障がいを持った子供へ】 ワークショップ ① 太鼓の種類を紹介 太鼓の形状を説明後に叩いて音の違いを感じてもらいます。 ② 太鼓の音遊びを行います。会場広さと音を感じてもらうために、会場のあちこちで太鼓を叩き、音の広がりや空間を感じてもらいます。健常者よりも鋭い聴覚で指導員の位置と太鼓の種類をあたるゲームなどから始めます。(必要であれば音声ガイドを使用する) ③ 各種太鼓を触って体感、叩いて体で太鼓の振動を感じてもらいます。曲に合わせて叩いたり、踊ったりする。十分に距離を保ち、安全を確保の上太鼓を叩いたり、リズムを取りながら動く練習をする。 本公演 ① できるだけ通常の公演と同じ演出にする。 衣装はもちろんのこと、照明による演出も同様にする。それを音声ガイドで紹介してもらう。(例:暗転から徐々に明るくなる様子や色までも紹介してもらう。琉球舞踊の衣装についての解説や、ゆったりとした動きなのか、コミカルな動きなども音とともに紹介してもらう) ② 舞台転換場面において、SE による効果音で、波の音や小鳥の囀りなどを使用し、空間を感じてもらう工夫をする。

	【聴覚障がいを持った子供へ】 ワークショップ ① 太鼓の種類を手話にて紹介 ② まずは太鼓の種類を触って体感、叩いた時の振動を感じてもらいます。 太鼓の大きさと振動の違いを体感。また、子供達の背後やパーテーション越しに太鼓と叩き、どの太鼓だったかを当てるゲームなどを行い、振動音を体で感じてもらいます。 ③ 指導員と一緒に同じ振り付けで踊ってみる。 自分で叩き、仲間と合わせて踊る楽しさを感じてもらいます！ 本公演 ① 手話通訳者に、MC、歌のコーナーでは歌詞、セリフのある演舞の通訳をお願いして物語の内容を理解して楽しんでいただく。 ② 出演者にも要所要所で手話を使い子供達とコミュニケーションを図ります。 【身体障がい・発達障がいを持った子供】 ワークショップ ① 今までの実績で感じたことや、特別支援学校の先生とお話した中では、特に内容を変更することなく実施可能と考えております。 もちろん、車椅子でも踊れる上半身の振り付け、または太鼓を持たずに叩ける様に工夫したり、参加する子供の障害の度合いで振り付けを変更いたします。 本公演 (ア) 基本は通常と同じ公演を目指しますが、MC をゆっくり分かりやすくしたり、学校側と協議の上、共演部分の構成を変更できるようにいたします。 (例：共演部分の時間を余裕を持って構成に変更し、楽しく参加できるようにする) 【身体的機能障がいを持った子供へ】 ① 肝機能障がい・心臓機能障がい・呼吸器機能障がい・腸などの機能障がいなどの障がいをもった子供は、病院に併設されている学校に病棟から体調の良い生徒が登校している場合は、さまざまな医療機械(呼吸器など)を装着したままの鑑賞になると思いますので、ベットに横になったままでも鑑賞できるように舞台がある体育館ではなく、医療機器に対応できる部屋でも鑑賞できるように、狭い場所でも踊ったり、歌ったりできる演目にし、音響機器や照明機材を最小限にしたミニ公演を可能とする。
協力・連携機関 及び団体内に おける専門員 の配置等	・特定非営利活動法人 シアター・アクセシビリティ・ネットワーク(TA-net) 活動分野：障がい者、福祉、文化・芸術の振興、行政への政策提言 活動実績：多岐にわたるため（URL 添付）https://ta-net.org ・沖縄聴覚障害者情報センター 活動分野：沖縄県盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業実施 機材貸し出し等

【令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－ユニバーサル公演事業－実施条件等確認書①】

ID	UNL13	分野 (大項目)	伝統芸能	分野 (中項目)	歌舞伎・能楽	区分	D区分
公演団体名	一般社団法人 沖縄歌舞劇団 美			制作団体名	株式会社 CHURA		

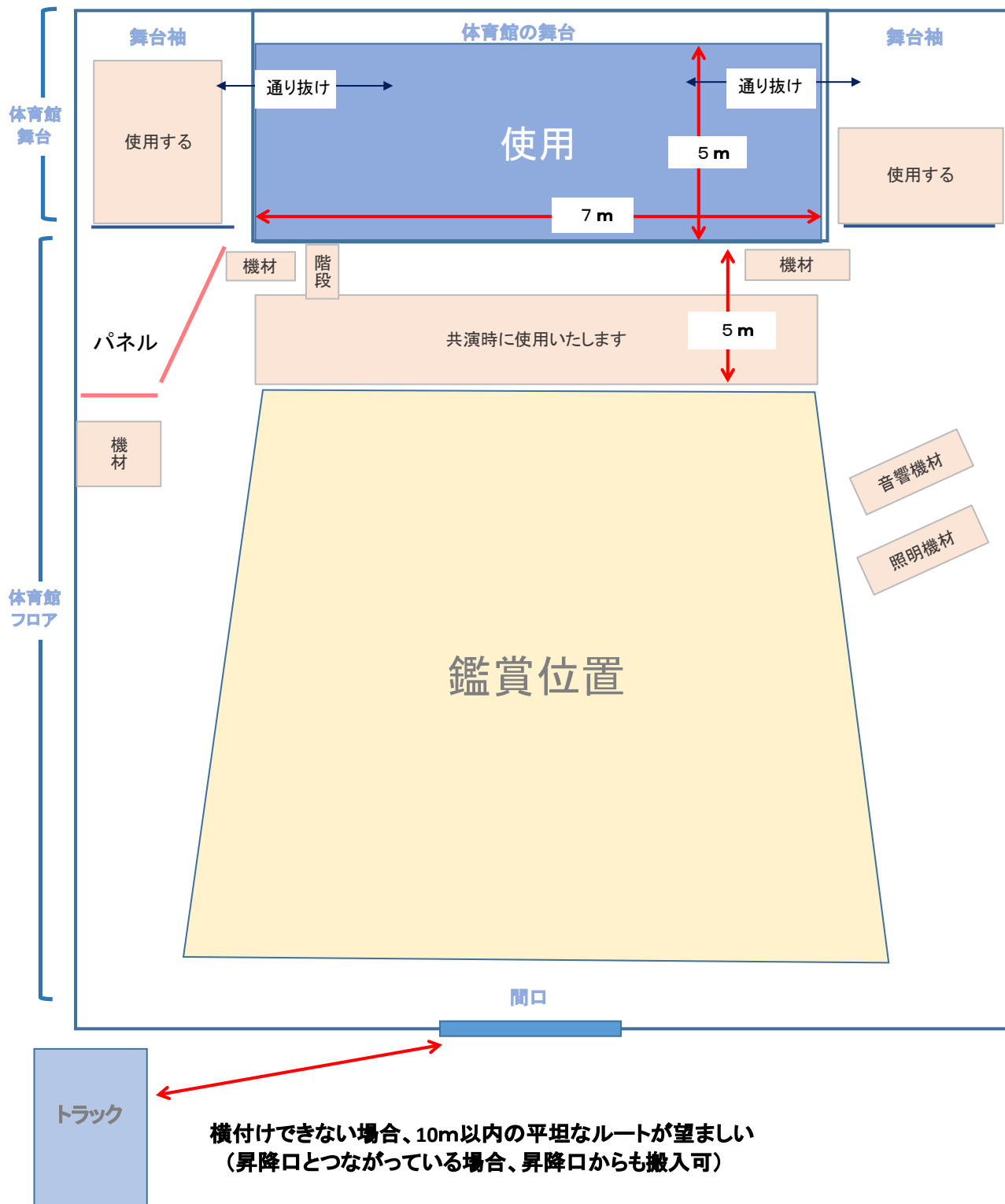
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	不要	条件						
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			2トラック	1台	中型バス	1台	可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細			沖縄本島で宿泊なしの場合で出演者のピックアップが必要な場合は中型バス1台を小型バス2台に変更になる場合があります。					
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2トラック(長さ6.23m 幅1.76m 高さ2m)				可	
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				可	
	搬入経路の最低条件			・できるだけ階段がない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				可	
	理由			・音響機材、照明機台など重量のある機材が多いため。 ・雨天の場合、楽器の搬送があるため、できる限り濡れないようにするため。					
	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				可	
	搬入間口について 単位:メートル	幅	80cm	高さ	1.8m			可	
WSについて	参加可能人数	複数回のWSが可能な場合の1回目であれば、体育館収容可能人数対応可能 1回のWSもしくは複数回のWS開催時の2回目以降は本番時共演できる26名程度						可	
	学年の指定の有無 *	あり	指定学年 *	中学年	高学年			可	
	所要時間の目安 単位:分	90分程度(休憩込み)						可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの 所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数			ステージと機材設置スペース確保後の体育館内の 収容可能人数対応可能				可	
	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	7m	奥行	5m	高さ	5m	可	
	体育館の舞台を使用 する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				可
		舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態				可
		緞帳 *	要		バトン *	要			可
	遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	照明演出と字幕使用の場合は字幕を読みやすくする為。ない場合は別対策を講じる。				可
	ピアノの調律・移動の 要否 (調律費・移動費は経 費対象外です)	指定位置へのピアノの移 動 *		要	※指定位置は会場設置図面 にて御確認ください。				可
		ピアノの事前調律 *		不要				可	
	フロアを使用する場合 の条件	バスケットゴールの設置状 況 *		格納されていれば可				可	
	公演に必要な電源容量		60A	※主幹電源の必要容量				可	
	その他特記事項								応相談
	舞台袖を公演中の着替えに使用いたします。使用できない場合はフロアにパーテーションなどで簡易の着替え場所を設置いたします。								可
フロアから舞台上上がる階段があれば使用させていただきたい。								可	
ピアノが舞台上にある場合は舞台の端に移動させていただきたい。								可	

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	80cm	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



UNI_13

D区分

前日仕込みの有無

なし

一般社団法人 沖縄歌舞劇団 美

10月3日	月	○
10月4日	火	○
10月5日	水	○
10月6日	木	○
10月7日	金	○
10月8日	土	○
10月9日	日	○
10月10日	月	○
10月11日	火	
10月12日	水	
10月13日	木	○
10月14日	金	○
10月15日	土	○
10月16日	日	○
10月17日	月	○
10月18日	火	○
10月19日	水	○
10月20日	木	○
10月21日	金	○
10月22日	土	○
10月23日	日	○
10月24日	月	○
10月25日	火	○
10月26日	水	○
10月27日	木	○
10月28日	金	○
10月29日	土	○
10月30日	日	○
10月31日	月	○

11月1日	火	○
11月2日	水	○
11月3日	木	○
11月4日	金	○
11月5日	土	○
11月6日	日	○
11月7日	月	○
11月8日	火	○
11月9日	水	○
11月10日	木	○
11月11日	金	
11月12日	土	
11月13日	日	○
11月14日	月	○
11月15日	火	
11月16日	水	○
11月17日	木	○
11月18日	金	○
11月19日	土	○
11月20日	日	○
11月21日	月	○
11月22日	火	○
11月23日	水	○
11月24日	木	○
11月25日	金	○
11月26日	土	○
11月27日	日	○
11月28日	月	○
11月29日	火	○
11月30日	水	○

12月1日	木	○
12月2日	金	
12月3日	土	
12月4日	日	○
12月5日	月	○
12月6日	火	○
12月7日	水	○
12月8日	木	○
12月9日	金	○
12月10日	土	○
12月11日	日	○
12月12日	月	○
12月13日	火	○
12月14日	水	○
12月15日	木	○
12月16日	金	○
12月17日	土	○
12月18日	日	○
12月19日	月	○
12月20日	火	○
12月21日	水	○
12月22日	木	○
12月23日	金	○
12月24日	土	○
12月25日	日	○
12月26日	月	○
12月27日	火	○
12月28日	水	○
12月29日	木	
12月30日	金	
12月31日	土	

1月1日	日	
1月2日	月	
1月3日	火	
1月4日	水	
1月5日	木	
1月6日	金	○
1月7日	土	○
1月8日	日	○
1月9日	月	○
1月10日	火	○
1月11日	水	○
1月12日	木	○
1月13日	金	○
1月14日	土	○
1月15日	日	○
1月16日	月	○
1月17日	火	○
1月18日	水	○
1月19日	木	○
1月20日	金	○
1月21日	土	○
1月22日	日	○
1月23日	月	○
1月24日	火	○
1月25日	水	○
1月26日	木	○
1月27日	金	○
1月28日	土	○
1月29日	日	○
1月30日	月	○
1月31日	火	○

2月1日	水	○
2月2日	木	○
2月3日	金	○
2月4日	土	○
2月5日	日	○
2月6日	月	○
2月7日	火	○
2月8日	水	○
2月9日	木	○
2月10日	金	○
2月11日	土	○
2月12日	日	○
2月13日	月	○
2月14日	火	○
2月15日	水	○
2月16日	木	○
2月17日	金	○
2月18日	土	○
2月19日	日	○
2月20日	月	○
2月21日	火	○
2月22日	水	○
2月23日	木	○
2月24日	金	○
2月25日	土	○
2月26日	日	○
2月27日	月	○
2月28日	火	○